

学習教材貸出事業

事業概要

環境学習や健康学習、脱温暖化対策、ごみ問題に関するグッズを整備して貸し出し、地域や学校における体験的な学習活動やイベント等での活動を支援した。

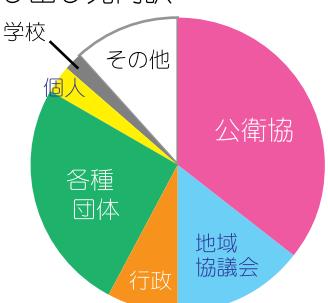
貸し出しの流れ

- ①電話で、借りたいグッズの空き状況を確認（仮予約）
- ②仮予約後、借用申込書を提出（予約完了）
- ③グッズの貸し出し（無料・最長2週間）
- ④グッズの利用・返却、利用報告書の提出

令和5年度の実績

貸し出し先内訳と月別貸し出し件数

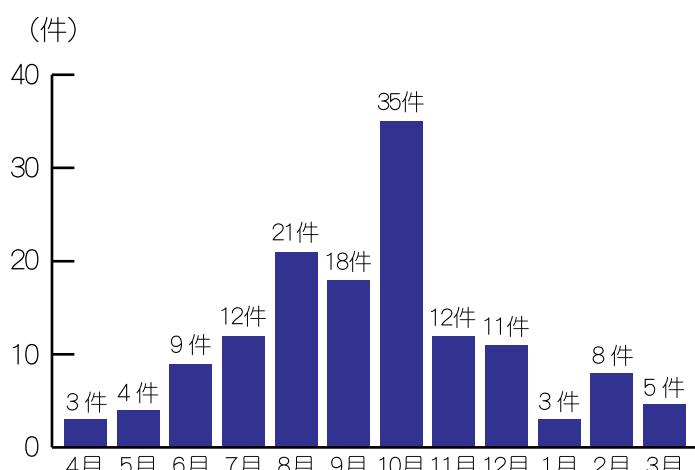
○貸し出し先内訳



こちらの団体に
貸し出しました。



○月別貸し出し件数



人気グッズベスト3

1 脱温暖化推進キット：132件

カーボンクエスト (10件)



折りたたみ自転車
(9件)



エネットレ (子ども用)
(8件)

2 水辺教室・海辺教室キット：50件

網 (12件)



バケツ (11件)



バット・のぼり (9件)



3 リサイクルキット：38件

ごみの分別ゲームカード (8件)



3Rパネル (6件)



ペットボトル再生品サンプルセット (3件)



利用状況

海ごみ標本BOX

海ごみをレジンで固めることによって、衛生面などを気にすることなく四方から観察できます。

レジン標本以外にも、消毒した大型のごみなども付属している。



活用例

府中町公衆衛生推進協議会

「緑の仲間フェス夕」で、公衛協の海ごみ対策事業（河川清掃など）と併せて展示した。

海ごみの発生源や海ごみ問題について知ってもらい、環境を守るために自分ができることを考えてもらうとともに、公衛協活動のPRにつながった。



鉄道模型くるくる実験器

手回し発電機を回して発電した電気で電車を走らせる実験器です。

ハンドルを速く回すと電車も速く、ハンドルを逆に回すと電車も逆に動きます。



活用例

株式会社アシスト

「2023年度 ひろしまバスまつり」において、脱温暖化について学習してもらうブースで、自由に体験してもらうコーナーへ設置した。



かるぴか

太陽熱を利用して調理することで、太陽光という自然エネルギーの可能性を実感することができます。

三脚にパラボラを固定するだけで使用することができます。



活用例

安東公民館

自然エネルギーをテーマとした環境学習会において、体験学習として、太陽の力でポップコーンを作った。

作成過程でも、赤外線放射温度計で鍋の温度を測ることで、自然エネルギーの力を実感してもらうことができた。



騒音計

防災イベント等で大声大会をする際に活用できます。最大音量を表示することができるので、計測も容易です。



活用例

三次市田幸地区公衆衛生推進協議会

「田幸スポーツフェスティバル」において、防災の視点で大声コンテストを実施した。

いざというとき、大きな声を出せるようにという企画趣旨で開催し、景品を防災食や防災グッズにすることで、各家庭の備えの必要性を伝えた。



新規導入グッズ

食品ロスNOカルタ

食品ロスの現状や食品ロスを減らすための方法について、カルタを遊びながら楽しく学ぶことができます。



今日から実践!食品ロス削減パネル

食品ロスの概要および、その日から実践できる食品ロス削減アイデアを、イラスト等を用いてわかりやすく解説しています。



フレイル予防パネル

フレイル全般の知識に加え、「食・口腔機能」「運動」「社会参加」の3つの視点からフレイルとその予防について学ぶことができます。

クイズも含まれており、楽しく学ぶことができます。



※令和5年度に新たに導入した貸し出しグッズの一部を掲載しています。

拡充した貸出グッズの一覧は「令和5年度地域活動支援センター実施事業一覧（P. 87～88）」をご参照ください。

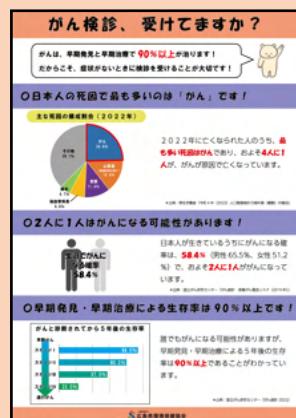
握力計



フレイル測定に用いるグッズです。各年代と平均握力の表や、フレイルに関する簡単なパネルを付属しており、筋力低下という視点からフレイルについて周知することができます。

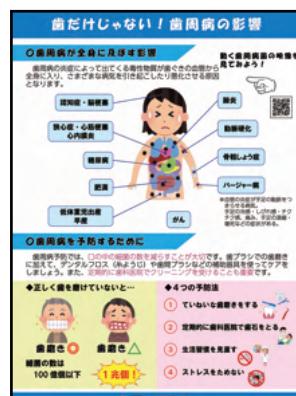
がん検診受診勧奨パネル

がんの危険性や早期発見・早期治療の重要性、国が推奨する5つのがん検診など、がんに関する基礎的な情報およびがんを予防するための生活習慣について学習することができます。



歯の健康啓発パネル

歯周病の危険性や、オーラルフレイル（口腔機能の低下）など、歯と口腔の健康に関する問題や対策について学ぶことができます。



成 果

●新型コロナウイルスの感染状況が収束に向かい、貸し出し件数がコロナ禍以前に戻りつつある。

●海ごみ学習教材の充実などにより、行政機関への貸し出し件数が増加した。

◆貸出件数の経年変化◆



令和6年度に向けて

●教材とその活用事例の周知

Facebookや情報紙「環境と健康」を活用して、教材とその活用事例についての情報提供を行い、活用を促す。

●情報収集およびニーズの把握

利用者のニーズを把握して、新規グッズの拡充と既存グッズの充実を図る。